

テーマ

大型化・形状の複雑化に対応する段ボールケース抜き加工ラインの再構築

千葉県異業種交流融合化協議会 団体会員構成員企業

幸陽紙業株式会社

本会では、「中小企業新事業活動促進法」に基づく中小企業者の「経営革新」への取り組みを支援しています。

今月号では、本会が運営支援を行う団体の会員企業の中から、自社の創意と熱意が込められた「経営革新計画」の策定にチャレンジした企業をご紹介します。

経営革新計画とは？

「経営革新計画」とは、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年の「ビジネスプラン」のことで、計画を千葉県に申請して承認を受けると、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、課税の特例等の支援措置の対象となります。

※経営革新計画は、会員企業の費用負担なく、中央会が策定支援を行っております。

申請のくややくわい

得意先の高品質化・多様化要求が一段と厳

しくなる中で、段ボールケースの形状に変化が現れ、抜き型による抜き加工製品が増加し、形状が複雑化しています。また、大型のケースも抜き加工に変わってきているほか、発泡スチロールに代わる緩衝材の新規需要も増加傾向にあります。しかし、従来の抜き加工機と付帯設備は老朽化が進み、能力、精度が低下し、コストアップの要因となっており、ラインの再構築が必要なため、経営革新計画の立案と申請に至りました。

テーマ及び内容は？

1. テーマ

「大型化・形状の複雑化に対応する段ボールケース抜き加工ラインの再構築」

2. 計画期間

▽平成20年8月～平成25年2月（5年計画）

3. 付加価値額の上向

▽計画時 488, 477千円
▽計画終了時の目標伸び率18%

※付加価値額＝営業利益（税収の増大）＋減価償却費（設備投資の増大）＋人件費（雇用の増大）

4. 内容

新型の打抜加工機（右写真）を導入し、段ボール搬送ライン、抜きカス除去・搬送装置、抜き型収納置場などの付帯設備を整備することで、複雑化した形状や大型の製品など新規需要の獲得と多品種・小ロット、短納期などの得意先の要求に対応可能な生産体制を構築しました。



▲ 打抜機（オートプラテン）

取組は？

従来の機械では、最近増えてきた大型のケースや発泡スチロールに代わる緩衝材の需要に対応できないこと。また、処理速度が遅く、稼働能力が限界にきていること。さらにロスが多く、売上原価の引き上げ要因となっていたことなどの理由により、新型の機械を導入しました。

成果は？

機械の運転速度が大幅にアップしました。また機械が大型化し、高品質対応となるため、大きな製品や、得意先の要求を満たす緩衝材製品の製造も可能になりました。このため、今まで外注していた大型のケース等が内製化でき、キズ、破れ、割れにより廃棄していたロスも減少したため、売上原価の低減につながりました。今後は、余力を新規拡販で埋めることで、売上高の増加を図って行きたいと考えています。

社長へのインタビュー

外部からの利益獲得が至難のわざである昨今、コストダウンのため当工場を整備改善する必要がありますがありました。その第1段階として老朽化が進み能力、精度が低下、生産性が悪い段ボール用打抜機を更新しました。その結果、

品質面においては、ますます進む高品質化、多様化要求、ケースの大型化などの得意先の要求を満たすことができ、生産性では運転速度が平成19年度より約2倍となりました。さらにキズ、破れ、割れによるロスも減少しコストダウンにつながりました。また、機械の能力的には生産余力を残しているため、新規拡販への大きな力につながっています。当社の経営革新は今回で4回目になりますが、中小企業が合理化を進める上で、なくてはならない素晴らしい制度です。

中央会から

「売上アップのための経営革新計画づくり」を中央会がサポートします。皆さまの組合でも、経営革新にご関心をお寄せいただけるような会員企業をぜひ中央会（経営支援部）へご紹介下さい。

経営革新？何だか難しそう。

経営革新？うちには関係なさそうだし。

全てノーです。経営革新とは、環境変化への積極的な対応そのもの。したがって、経営革新に業種や業界、会社の規模は関係ありません。

現在の経営環境についてはここで縷々申し上げるまでもありませんが、皆さまには、外部環境の変化や競争に受動的に対応するだけでなく、自ら能動的・主体的に経営力向上に取り組むための革新的マインドを存分に発揮して頂けたらと存じます。

私たちには逆境に屈しないDNAが刷り込まれているはず。かつて欧米列強による植民地化の脅威の中、名もなき幕末の志士は大政奉還を実現し、明治時代の青年は「坂の上の雲」を追い求めて近代日本の礎を築きました。戦後は、焼け野原の中から数多の庶民の夢が不死鳥のような逞しさと奇跡の高度経済成長を成し遂げたのです。こうした先人の不屈の精神というのは、苦境をブレイクスルーするための革新的発想の継続によって支えられていたのではないのでしょうか。

どんなに逆風が吹こうとも、これからも挑戦の日々は続きます。経営革新は、企業にとって成長へのトリガーと心得、混沌の時代こそ志高く、次なる成長に舵を切っていくための経営革新計画（目標）をぜひ座右に備えて下さい。千葉県中央会は経営革新への取り組みを全力でサポートいたします。

【経営革新計画策定の流れ】

- ① 企業が抱える問題、課題をどう解決すべきか、そのための創意あるアイデアを抽出し、
- ② アイディアの実現（による経営力の向上）に向けた具体的な行動計画としてプランニングします。経営革新の承認を受けるには、創意に富んだ新たなビジネス発想とそれを求める顧客の明確化を図ることが一番の勘どころです。（前述の「テーマ及び内容」の部分）

◎経営革新のご相談は本会経営支援部まで

TEL 043・306・3282